

水稻新品種「風さやか」栽培指針

中野市農業協同組合・北信農業改良普及センター

	11月		3月		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
作業体系	堆肥施用 耕起		塩水選 種子消毒 浸種 催芽 播種			育苗管理(30日) 基肥施用 入水 荒代 植代			田植え 初中期除草剤散布			雑草発生状況により 中期か後期剤散布			追肥 穂数確保			落水 収穫判定			収穫				
水管理																									
栽培管理	<p>「風さやか」の特徴：長野県農業試験場育成。 中晩生品種で、コシヒカリより出穂が3～4日程度遅く、倒伏・いもち病に強く多収。また、炊飯では冷めても美味しい良食味。過度な施肥により籾数過剰となると収穫判定の困難、未熟粒の増加につながるため適正施肥と中干しの徹底を図る。</p> <p>1 基肥施用（地力に応じて加減する）</p> <p>(1) 基肥 BB粒状複合284号：40～50kg/10a（N 4.8～6.0kg/10a 程度） 田んぼ一番：100kg/10a（総合土づくり資材）</p> <p>(2) 追肥 BB粒状NKC201号：10～15kg/10a（N 2～3kg/10a 程度） ☆追肥の施用時期は、出穂前25～18日を基準とする。 但し、15kg施用する場合は、2回にわけて施用する。（出穂前25日と18日の7日間隔） ☆基肥と追肥ともに基準施肥以上に施肥しない。 ☆堆肥を施用する場合、春施用すると、ガス湧きによる生育阻害が生じるので、基本的に前年の秋に施用し、耕起、分解を促進する。 ☆その他の有機物を施用する場合は普及センター・JAへ相談する。</p> <p>2 播種・育苗管理 ・一般の品種と同様に行う。</p> <p>3 田植え ・時期：5月下旬～6月上旬 極端な遅植えは、適性穂数確保できないので注意する。 ・一般栽培に準じ、60株/坪植え、3～4本植えとする。コシヒカリより穂数が少ないので、極端な疎植(50株未満)は避ける。</p>												<p>4 病虫害防除（平成30年度病虫害防除基準を参考にしてください。）</p> <p>(1) 苗箱施薬：ルーチンデュオ箱粒剤又は、プリンス粒剤 (2) いもち病防除：葉いもちの進展が見られた場合は、治療剤を散布する。 （治療剤：カスミン液剤、ブラシン粉剤DL、ブラシンプロアブル、他） ☆いもち病には比較的強いが、常発地域や感染好適条件が続くなど、多発の恐れがある場合は特に薬剤による予防に努めること。 （予防剤：コラトップ粒剤5、コラトップジャンボ、ピーム粉剤DL、他） ※農薬使用の際はラベル等をよく読み、使用時期や使用量を確認しましょう。</p> <p>5 雑草対策（平成30年度除草剤使用基準を参考にしてください。） 一般栽培に準じる。 （初期剤：農将軍フロアブル、メテオフロアブル、ピラクロンジャンボ、他） （初中期剤：バッチリLX1キロ粒剤、イネキングフロアブル、キマリテジャンボ、他） ☆雑草の種類、時期によって除草剤を選択する。 ☆湛水処理の場合、散布後できるだけ3日間に入水しないと効きやすい。 ※農薬使用の際はラベル等をよく読み、使用時期や使用量を確認しましょう。</p> <p>6 水管理（上記の表を参考にしてください。） ☆田植え後ガス湧きが多い場合は、軽く干して酸素供給を行う。 ☆幼穂形成期以降、低温時は深水管理を行う。</p> <p>7 中干し ・無効分けつや遅れ穂の増加を防ぐため、有効茎数(2枚以上の葉をもつ分けつ)が22～23本程度になったら、約10日の中干しをかける。</p> <p>8 収穫適期の判定 ・積算気温 1100度を目安とする。 ・帯緑色籾歩合 10～5%で収穫する。 ・刈取時期は9月の特報を参考に、登熟期積算気温と帯緑色籾歩合を確認し判断。</p>												